

6 階 北 病 棟 紹 介

当病棟は、内科と脳神経外科に新たに皮膚科を加えた混合病棟で、病床数は46床です。本年度より亜急性期病床としての機能が加わり、急性期を脱した患者さんの在宅復帰に向けた退院支援にも力を入れています。

師長・主任を含め25名の看護師は約半数が20歳代と若く、働き者の看護補助者とも抜群のチームワークで、笑顔の耐えない明るい職場です。

ベッド上生活を送っている患者さんが多いため、食事・排泄・清潔といった日常生活の援助が多く、安静度の範囲内でストレッチャーやシャワーチェアを駆使し清潔ケアを行っています。寝かせきりを防ぐため積極的に車椅子へ移乗させ、療養上の目的で食事を摂られない方にも、一日3回の口腔ケアを実施し、生活リズムを整え快適な療養生活を送っていただくようにしています。

患者さんを癒せる「笑顔」、安らぎを与える「言葉づかい」、相手を気遣う「思いやり」をモットーに接遇「No.1」の病棟を目指しています。長期にわたりじっくり関わる事が多い事もあり、患者さんが退院されるときは皆自分の家族のこのように喜び、お見送りをしています。

入院された患者さんやその家族の方から「共済病院に入院してよかった！」と褒めていただけるように、看護部の理念である「信頼される質の高い温かな看護」を提供すべく、スタッフ全員で日夜頑張っています。

病棟師長代行 金子 祐子

